

事務事業チェックシート

事務事業No 90 事業名 特定健康診査等事業（メタボリックシンドロームに着目した健診）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	4	社会保障制度の充実
取組方針	4	国民健康保険制度及び後期高齢者医療保険制度の適正な運営

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律第20条		
関連個別計画	特定健康診査等実施計画		
担当課・担当課長・Tel	国保年金課	山田原 尚生	435-1057
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	国民健康保険事業特別会計		
	款	保健事業費		
	項	特定健康診査等事業費		
	目	特定健康診査等事業費		
	大事業	特定健康診査等事業		
	中事業	特定健康診査等事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か 40～74歳の被保険者を対象に特定健康診査を実施することにより、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の者を早期に発見し、生活習慣病予防のための保健指導につなげる。		全体事業概要 生活習慣の変化等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の該当者及び予備群が増加していることから、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査を実施している。受診率向上のため、平成22年度から検査項目の充実と自己負担金を無料にした。対象者全員に「受診券」を同封した健診案内を送付し、健診の受診を勧奨。市内255か所の医療機関と委託契約を行い健診を実施。医療機関は、月々の請求書と共に検査結果データを市へ提出し、それらを確認した上で費用を支払う。受診率向上のため、広報活動にも力を入れると共に、受診勧奨ハガキや電話等で受診を促している。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。		和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	和歌山市医師会等医療機関に委託し健診を実施する。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	323,602	273,229	322,859	270,004	318,072	262,008	298,484		298,484	
伸び率（%）	-	-	▲0.2%	▲1.2%	▲1.5%	▲3.0%	▲6.2%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	16,019	15,904	15,816	16,348	15,642	13,271			
	正規職員以外	400	375	375	250	741	1,624			
	小計	16,419	16,279	16,191	16,598	16,383	14,895			
国庫支出金	56,571	53,125	56,656	55,459	55,225	48,235				
県支出金	109,080	114,529	107,694	112,619	104,953	106,264	294,166		294,166	
市債										
その他	157,951	105,575	158,509	101,926	157,894	107,509	4,318		4,318	
一般財源（税等）										
所要人数（人）	正規職員	2.11	2.14	2.13	2.06	2.06	1.97	1.66		
	正規職員以外	0.19	0.19	0.19	0.11	0.18	0.46	0.72		
主な予算内訳	特定健康診査委託料273,286千円 通信運搬費7,262千円 電算共同処理等委託料6,888千円 手数料（医師会パンチ料）5,667千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
受診券送付数		通	目標値					
			実績値	73,603	71,542	68,544		
			達成度(%)					
受診勧奨ハガキの送付数		通	目標値					
			実績値	36,171	51,218	51,907		
			達成度(%)					
特定健康診査受診率		%	目標値	50	55	60	40	45
			実績値	33.3	33.8	34.6		
			達成度(%)	66.6%	61.5%	57.7%		
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>特定健康診査を受けることにより、健康への意識づけができ、高血圧・脂質異常・高血糖などのリスクの減少及び疾病の早期発見・早期治療により重症化予防につながることから、中長期的に医療費の適正化に寄与する。</p> <p>平成22年度以降、自己負担金の無料化、集団健診の充実、未受診者への受診勧奨はがきの送付などにより、受診率向上に努めているが、受診率は平成26年度より約33%台で横ばい傾向となっており、現状の手段を継続していくと共に、より効率的・効果的な取り組みを目指す。</p>
見直し・改善内容	<p>平成30年度より健診項目にeGFR(腎機能)を追加し実施。</p> <p>eGFRは腎機能の状態をより早期に判断することができるため、重症化予防においての効果は期待できる。</p>